

加藤昌則の

聴かぬなら
聴かせてみせよう!!

クラシック

#1
#2

この試験に
出ますよ

クラシック音楽をより楽しく！
レクチャー型コンサートシリーズ！
ついに開講!!

クラシック音楽には「難しそう」「敷居が高い」「長い」といったイメージをお持ちではないでしょうか？

本シリーズでは、そうしたクラシック音楽を、分かりやすい解説を交えて紹介することで、面白さをお伝えいたします！

加藤昌則
(ピアノ・ナビゲーター)

2023
1

21
土

#2 公演

テーマ

室内楽



Q 室内楽をテーマに選んだ理由は？

ヨーロッパでは室内楽というのが実に身近なものであり、オーケストラの演奏会の方が敷居が高めで、日常的に室内楽の方が楽しまれていたようです。それを理由に作曲家は実にたくさんの室内楽作品を残しているのです。オーケストラは人数が多いし、大きな音圧を味わえますが、室内楽は指揮者がいない分、個々の演奏家の息遣いや緊迫感を間近で感じ取れる魅力があります。それを味わってもらうためにゲストを呼んでいます。

Q どんな曲を取り上げますか？

シューマンのピアノ四重奏曲を全曲演奏します。この曲、全部で4つの楽章があるのですが、それぞれで室内楽の、音楽の醍醐味を味わえてしまう傑作だと思っているのです。特に第3楽章は、誰が聴いても美しく酔いしれちゃうメロディーを、なんと奏者がそれぞれ順番に演奏するのです。もちろん演奏家は気合いを入れて演奏するわけですから、退屈するわけがない！そして最後の楽章は、スピード感があって、とてもエネルギーで盛り上がっていく音楽に興奮を覚えます。聴いてみたいでしょ!?室内楽の、シューマンの虜になりますよ。



向井 航
(チェロ)



川田 朋子
(ヴァイオリン)



須田 祥子
(ヴィオラ)

2022

12

24
土

#1 公演

テーマ

宗教音楽

Q 宗教音楽をテーマにどんな話をするのですか!?

そもそもクラシック音楽の歴史は、宗教音楽から始まります。

教会で神様に祈りを捧げる歌が、各地で勝手に変えられたりして、正しく歌われていないので、それを統一するために楽譜として記述されたのが最初だからです。そしてこの宗教音楽の発展がクラシック音楽の発展そのもののものです。どう発展したかをお伝えします。

Q 具体的にどんな風にその発展を伝えるのですか!?

宗教音楽と言うと堅苦しい印象を持たれるかも知れませんが、だからみなさんご存知の「カエルの歌」を使って、その発展の流れをご紹介しますと思います。これならとっても身近だし、わかりやすいと思って。

そして楽譜という記録に残らなかっただけで、愛だの恋だの我々に身近な世俗音楽というのが実はあったのです。だから宗教音楽を知ること、音楽そのものを知ることにも通じるんですよ。



鵬翔中学校高等学校合唱部

公演情報

加藤昌則の
「聴かぬなら聴かせてみせよう!!クラシック」#1

2022年12月24日(土)

開場 13:30 / 開演 14:00

会場:メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)
イベントホール

[出演者] 加藤昌則(ピアノ・ナビゲーター)
鵬翔中学校高等学校合唱部

公演情報

加藤昌則の
「聴かぬなら聴かせてみせよう!!クラシック」#2

2023年1月21日(土)

開場 13:30 / 開演 14:00

会場:メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)
演劇ホール

[出演者] 加藤昌則(ピアノ・ナビゲーター)、川田知子(ヴァイオリン)
須田祥子(ヴィオラ)、向井 航(チェロ)